

令和6年 第1回サービス部会運営委員会 議事録

日 時 : 令和6年3月25日(月) 11時00分～

場 所 : (株)熊本県自動車会館 3階特別会議室

参加者 : <部会担当理事> ネットヨタ熊本(株) 代表取締役社長 井上 雄一郎

<運営委員長> 末永 一徳 部長

<副運営委員長> 金田 明雄 部長、中山 英治 取締役部長

<運営委員> 中島 健 部長、工藤 浩則 常務取締役、松島 貴幸 課長、
磯川 英修 部長、野口 貴生 マネージャー

<(株)熊日広告社> 前原 史弥 部次長、佐藤 直樹 課長

<事務局> 松本 伸二 専務理事 羽田野 晃央 事務局長

冒頭、熊本県自動車整備振興会 緒方 勝行専務理事の特別参加について、紹介があった。

末永運営委員長 司会、議事進行

井上担当理事 挨拶

皆さんおはようございます。年度末のお忙しい中、また、お足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。本日は整備振興会の緒方専務にもご参加いただきありがとうございます。

これまでの経緯として、整備振興会では「自動車祭り」の際に無料点検キャンペーンを開催されてきました。その後、「自動車祭り」がなくなり、去年は整備振興会と中古車部会合同で「安心安全点検キャンペーン」をやろうという企画がありましたが実現とはなりませんでした。

今年に入り、サービス部会の「復興支援キャンペーン」の代替案として、「エンジニアの魅力発信イベント」という企画に対し、今回、整備振興会と一緒に取り組むことで、スケールメリットが得られるのではと考え、整備振興会の緒方専務に、ご意見とお力を頂きながらこの議案を進めていきたい、とのことで本日、ご参加いただいた次第です。

また、このタイミングで、末永運営委員長が2年間留守にされることになりました。新・運営委員長(部会長)選出の審議もありますので、活発な意見交換で中身のある委員会にしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

議題1、「熊本県下新車ディーラー整備士魅力発信イベント」について

(株)熊日広告社 前原部次長より資料をもとに企画説明があった。

前回までの経緯

2023年12月1日開催のサービス部会で、整備士不足対策を目的に自動車整備士の仕事の魅力を発信するイベントを開催する提案があり議論が交わされた。

<ポイント>

- ・ターゲットは中高生とその保護者
- ・実施時期によっては就職協定の確認が必要
- ・グランメッセや陸運支局は集客に不安がある(交通の便が悪い)
- ・寒い時期や暑い時期は避けたい
- ・就職ガイダンス的な内容より体験・展示メインが良いのではないかと
- ※開催時期や各社で手配できるコンテンツについてアンケートを実施

<まとめ>

目的 自動車整備士や自動車に関わる仕事に関心を持ってもらう

指標 イベントの成果目標としてLINEアカウントの登録数 1,000名

中高生が楽しみながら整備士の仕事について学び、体験できるような構成にする
PRコーナー:パネル展示やアンケート、LINEアカウント登録促進、パンフレットやノベルティの配布を行う

展示コーナー:水素自動車、EV、その他の希少車種やエンジンのカットモデル等の展示をする

広報・ツール:ポスター

多くの学生が通学で利用する熊本市電とJRの車内のポスターを掲載

ポスター デザイン案Aの説明

ポスター デザイン案Bの説明

パンフレット 熊本県自動車販売店独自のパンフレットを作成

会場案① 花畑広場の企画説明

会場案② アミュ広場 オープンエリアの説明

費用概算 いずれも4590千円~4630千円の費用見込み

○質疑

井上担当理事より

熊本県がバックアップする産業フェスタなど、人が集まるイベントとアライアンス(連携)できればいいのではないかと思う。

体験型の企画が良い。記憶に残る。キッズニア等。

市電・市バスのポスター等、年間でやってみるのもいいのでは。

末永委員長

Q. LINEの登録者数の1,000名は大丈夫なのか。

A. 学生だけでなく保護者や希望される方すべての登録者と考えている

Q. LINEとインスタどちらかに絞ってフォローしたがよいのでは。

A. LINEが良い。アカウントを維持するための費用1年間分も見積りに入れて

ある。2か月に1度の割合でイベント情報などをアップしていく。

Q. コンテンツ費用 500,000 円について

熊本日野自動車の展示車両料金等は含まれないのか。

A. それぞれのコンテンツ費用は別途費用が掛かる

中島委員

ポスターの「整備士」という文言は、「自動車整備士」が良いのでは。

Q. この企画は来場された方すべてを対象とするのか。

A. 定員制（事前申し込み）にしてしまうと制限がかかる為、大量動員が見込めない為。

井上担当理事

熊本県産業フェスタについて

熊本県が主催で高校生約 2,000 名をバスで搬送し、話題の半導体を主体に説明会が行われていた。学校と県が連携し、パンフレット等も素晴らしいものだった。我々は限られた予算で、「来るか、来ないか」わからない企画をやっていては不安がある。

例えば、昨日、グランメッセにおいて自動車整備士の試験が行われたが、試験会場はいつも閑散としているが、隣のブースでは他の催し物があっており、あの大雨の中でもお客様が列をなして並んでいた。このように何かしらのイベントとのアライアンスにより効率良く、何か体験できる催し物をやったがよいのではと思った。平田機工のロボット展示が盛況であるように、体験を踏まえた企画から、「整備士になりたい」と思えるようなインパクトのある企画が良い。電車内の吊り下げポスターなど期間限定でやるより年間を通じてやったが費用対効果にもいいかもしれない。

その他の意見

中山委員

集客が重要である。グランメッセと花畑広場ではそれぞれに良さがあるが、ネックもある。合同（相乗り）でやれるのは良い。

金田委員

小川工業高校とか天草の高校へ企業説明会などを実施しているが、現状は長い目で見ている。ラッピングバスや吊り下げ広告など自社でもやってはいるが、自販連や整備振興会などと合同でやってはどうか。

工藤委員

集客については、学校の先生方への説明が必要。自販連サービス部会で別枠で学校訪問をやってみてはどうか。

末永委員 まとめ

一歩前進したが、重要なのはどうやって集客を見込むのか。対策としては、高校生・中学生を中心に他の催事とアライアンスして「こと体験」を実施することがポイントかと。今回までの意見を集約して、事務局・熊日広告社と協力して早急に企画を提案していただきたい。

事務局

ポスター案について 常時使用できるようなデザイン案に変更して、1年間使用できるポスターの作成をしてみてもどうか。バスなどの吊り下げ広告なども検討してみたい。

議題2、各指標については各自ご確認ください。

その他

- ・5月18日、19日開催の「全日本スーパフォーミュラー選手権」について
(株)日本レースプロモーション様より本レースの盛り上げのため販売店協会会員様向けにチケットを格安で提供される旨の連絡がありました。
詳細は別途、代表者様経由でご案内致しますのでよろしくお願い致します。
- ・整備振興会 緒方専務理事からのお願い
インターンシップの件で、各店舗へ直接依頼がかかった場合、本部に連絡なくお断りされるケースがあるとの事。是非、各現場判断ではなく、本部で対応して頂きたい。人員が少ない中また、忙しい中とは思いますが、せっかくの機会であるため、よろしくお願いしたい。
- ・この度、末永運営委員長の福岡スバル本社への出向が決まり（4月1日より）、急遽、それに伴う次期運営委員長の選出があった。末永委員長から熊本トヨペット(株)の中山副運営委員長の推薦があり、満場一致で委員長に選出された。
尚、末永部長の後任である小辻副部長が副運営委員長となり、1年後の改選期までこのメンバーでサービス部会を運営していくことでの了承された。

次回開催について

日時 令和6年5月9日（木） 14時00分～
場所 (株)熊本県自動車会館 3階特別会議室

以上で令和6年第1回サービス部会運営委員会は終了した。